

いわき支部だより

発行責任者:いわき支部長 柴田昭浩

発行日:平成22年4月20日(火) 平成22年度 第1号

1.支部長挨拶



柴田昭浩 支部長

平成22年度から、いわき支部長を拝命することになりました。いわき支部の為に少しでも貢献できるように、いわき支部役員と共に邁進いたします。今年度は診療報酬改定年で、改定率は10年ぶりにプラス改定とはなりましたが、生化学検査では新点数は厳しくなり、担当の方は項目数の調整等で苦勞が絶えないことと思います。

各支部は5年に1回、県学会を担当します。県学会の担当は支部にとっては最も重要でハードな行事です。その第44回福島医学検査学会は、平成24年にいわき支部で行う予定となっております。平成24年・・・まだまだ先・・・ではありません。平成23年からは本格的に準備を行わなければなりません。私のいわき支部長としての任務は、一つ目は第44回福島医学検査学会を成功裏へと導くことです。その為には、いわき支部の役員と会員が一丸となってこれに取り組まなければなりません。第44回福島医学検査学会に向けて、準備万端で望みますので何卒ご協力をお願いいたします。

二つ目は、いわき支部会員へ各情報を正確に迅速にお伝えすることです。既にいわき支部役員間では、メールを活用して連絡・議事録等の配信を行っており、いわき支部会員へも出来るだけ早くお伝えできるようにいたします。

三つ目は、いわき支部が今まで築き上げた歴史を汚さぬように各行事を行うことです。我々検査技師にスキルアップは欠かせません。研修会に行きたくても行けない・・・勿論それには様々な理由があります(遠距離の研修会にはなかなか行けな

い、仕事を休めない・・・)。幸いにも、いわき支部は学術活動を活発に行っております。今後も、いわき支部会員の為になる学術活動を行っていきたいと考えております。

この三つを柱に、いわき支部会員のご意見を尊重し、いわき支部会員の為になる活動を今まで同様に継続して参ります。

どうぞ今後も、支部発展のために皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



2 . 平成22年度いわき支部学会・総会開催される

平成22年度いわき支部学会・総会が4月3日（土）、いわき市総合保健福祉センターにおいて総数82名の参加者を得て開催されました。はじめに、今期をもって退任した山口 前支部長の挨拶があり、つづいて県技師会大花会長の来賓祝辞、そして定期総会へと移りました。総会では報告、議案および新役員はすべて承認されました。



山口 前支部長



大花 県会長



園部 技師



和田 技師

次に、なこそ病院検査室の園部技師、須田医院検査課の和田技師による職場紹介がありました。それぞれ一人職場で多岐にわたる業務をこなすご苦労と、地域医療に貢献する施設の姿勢や、なごやかな職場の雰囲気伝わる講演でした。

最後に「いま見直される脂肪肝」と題し、磐城共立病院副院長 中山晴夫先生の講演がありました。私たちが軽視しがちな脂肪肝の中に非アルコール性肝炎(NASH)があり、肝臓、肝硬変にいたる場合があることや、NASHとメタボリックシンドローム、糖尿病との関係を最新の知見と多くの症例を交え、分かり易く解説していただきました。会員からは、単純性脂肪肝とNASHを鑑別するためのデータは何か、など活発な質疑がなされました。



中山晴夫 先生



3 . 役員紹介

役職名	氏名	施設名
支部参与	山崎美一	自宅
支部長	柴田昭浩	かしま病院
副支部長	帯施 晃	小名浜生協病院
副支部長	平山善雄	微研東北中央研究所
事務局長	森 菊夫	磐城共立病院
副事務局長	蛭田留里子	磐城共立病院
学術部長	木田陽子	松村総合病院
(生涯教育兼務)		
副学術部長	鈴木尚子	松村総合病院
会計部長	菱川恭子	かしま病院
幹事	遠藤一良	保健衛生協会いわきセンター
幹事	木田譲仁	保健衛生協会いわきセンター
幹事	鈴木佳代	呉羽総合病院
幹事	鈴木きよ子	微研東北中央研究所
幹事	鈴木幸子	磐城共立病院
幹事	遠藤みどり	福島労災病院
会計監査	河村幸江	呉羽総合病院
会計監査	新藤吉治	福島労災病院



新役員一同

本号およびバックナンバーは、福島県臨床衛生検査技師会ホームページいわき支部からご覧いただけます。

<http://www.fukushima-amt.or.jp/>